

| | | | |
|--------------|------------------|------------|---------|
| 授業科目名 | 教育実習（小）(2100406) | | |
| 時間割名 | 教育実習（小）(70129) | | |
| 時間割担当 | 善野八千子 | | |
| 実施期 | 通年 | 単位数 | 2 必修 選択 |
| 曜日・時限 | 集中 | | |

授業の目標・概要

実習校において、一人の教師として、具体的且つ実践的な経験をし、小学校での教育活動についての基本的な事柄についての理解を深める。具体的には、教科および領域の指導の実際を観察による指導内容や指導方法についての理解、授業の設計、実践による学級や児童に合わせた指導方法についての理解、指導教諭の指導による教師の任務や役割、責任についての理解などである。また、一人の社会人としての良識ある言葉遣いや態度を理解する。本実習を通して、教師として求められる授業実践力や社会性、協調性を身に付けることを目標とする。

学習の到達目標

- ・一人の社会人としての自覚と責任を持ち、良識ある態度を身に付けることができる。
- ・児童の発達段階や児童一人ひとりの長所や課題を捉えることができる。
- ・学校の教育目標に向けて、どのような教育活動を行っているかを理解することができる。
- ・学習指導要領に基づいた教材研究や指導の工夫を学び、実践することができる。
- ・自分の長所と課題を捉えることができる。

授業方法・形式

各実習校の計画に基づいて、実習を行う。

授業計画

各実習校の計画に基づく。

成績評価の基準

実習校からの評価票を元に、巡回時の状況や「実習ノート」や「事後の振り返り作文」などの資料および教育実習の事前事後指導の平常点を総合的に評価する。

準備学習・復習及び授

別途指示する。

履修上のアドバイス及

子どもの気持ちを十分に理解しながら、教育実習に臨むことを期待する。

履修にあたっては、教育実習事前事後指導（小）、教育実習（小）を同時に履修すること。また、本科目が不可の場合、教育実習事前事後指導（小）、教育実習（小）も次年度以降に再履修することになる。

教材・教科書

別途指示する。

参考書

別途指示する。